

平成29年度 長崎歯科衛生士専門学校自己評価（歯科衛生士学科）

長崎歯科衛生士専門学校教職員による無記名アンケート方式

アンケートは各質問項目に対して
 4：十分に達成している
 3：おおむね達成している
 2：どちらかという達成されていない
 1：ほとんど達成されていない
 の4段階で評価したものを集計し、その平均値を評価基準として採用した。

		成果と課題 (年度末)
学校教育 基本方針 (教育理念)	医療人としての自覚と倫理観を持ち、口腔保健に関する高度な専門能力を有し、健康教育とヘルスプロモーションの担い手となり、また、豊かな人間性を持った「人として、人に優しい歯科衛生士」の育成を目指す	教育理念、教育目標の確認や共通理解は図られている。今後も引き続き目標に掲げている歯科衛生士の育成を目指す。
学校教育目標	1.医療人としての使命感をもった歯科衛生士の育成 2.高度化・多様化する歯科医療に対応し得る歯科衛生士の育成 3.地域保健・医療・福祉の担い手としての歯科衛生士の育成 4.生涯の職業としてのプロ意識をもった歯科衛生士の育成	
重点努力目標	1.健康管理や時間厳守といった自己管理能力を身につける 2.カリキュラムを充実させ、即戦力となる人材を育成する 3.歯科衛生士国家試験合格率100%および就職率100%を達成するとともに優秀な人材確保に努める	国家試験合格率100%、就職率100%を達成した。

評価項目	目標	具体的方策	具体的取組	評価		成果と課題 (年度末)
				前期	年度末	
1.教育課程・学習指導						
(1) 科目編成における内容や工夫	「基礎力」を育成するカリキュラムを編成する	専門基礎分野と専門分野が有機的につながるようにする	時間割の作成時に各科目担当者の意見を反映し、また、科目間の連携を図るために連絡を密に行う	3.7	3.8	達成した。今後も社会変化に対応したカリキュラム編成の工夫と豊かな人間性を育むカリキュラムを取り入れたい。
	臨床現場に即したカリキュラムを編成する	臨床実習、臨地実習を多く組み入れる	実習内容ごとに到達目標を設定する	3.8	3.8	
	豊かな人間性を育むカリキュラムを編成する	選択必修分野の充実を図る	一般教養が身につくような科目を取り入れる	3.5	3.6	
(2) 教科指導における内容や工夫	シラバス(授業計画)を作成し、学生に計画的な学習をさせる	シラバス(授業計画)を作成し、学生に配付することにより、計画的な学習指導につなげる	シラバス(授業計画)を作成し学生に配付することにより、計画的な学習指導につなげる	3.8	3.7	達成した。シラバスの内容を見直し、授業目標の表現方法を統一する。また、計画的な学習指導を行うためにもシラバスを効果的に活用する。

評価項目	目標	具体的方策	具体的取組	評価		成果と課題 (年度末)
				前期	年度末	
2. 生活指導						
(1) 生活指導	自己管理能力を身につける	健康管理を徹底する	健康診断を実施し、再検査が必要な場合は、指導を行う また、B型肝炎やインフルエンザワクチン等の接種の徹底を図る	3.6	3.7	健康管理、時間厳守等に関しては、ほぼ達成したが、挨拶についてはまだ習慣化できていない。 自主的に挨拶できるように取組を考える。
		時間を厳守する	出席日数に目を配る	3.7	3.5	
	挨拶や礼儀作法の指導を行う	学校生活の中で礼儀の指導を徹底する	挨拶の慣行をはかる 社会人として必要なマナーをカリキュラムの中に取り入れる	3.3 3.4	3.3 3.7	
(2) 相談	問題行動の予防に努める	悩みを抱える学生の早期発見に努める	担任を中心に適切な教育相談を行い、問題行動を未然に防止する	3.7	3.8	達成した。 必要に応じスクールカウンセラーによるカウンセリングも実施している。今後も保護者との連携を密に取り、問題行動の予防に努めたい。
			必要に応じて保護者と連絡をとる	3.8	3.9	
			教務委員会で学生の対応を協議する	3.7	3.8	
3. 進路						
(1) 職場開拓	歯科医院以外への就職の門戸を拡大する	歯科衛生士の行う口腔ケアの重要性を働きかけ、医療福祉分野への就職の門戸を拡大する	老人保健施設や障害者施設などに積極的に実習に出し、歯科衛生士の役割の重要性を広める	3.5	3.7	達成した。 今後も歯科衛生士の重要性を広めるよう努力していきたい。
(2) 資格取得	歯科衛生士国家試験合格率100%を目指す	成績不振者を早期に見出し、対応する	適宜補習を行う	3.9	4.0	十分達成した。 100%合格が継続できるよう、学生の能力に応じた補習を実施したい。
(3) 就職率	就職率100%を確保する	学生の希望にそった就職先を確保する	ハローワーク、長崎県歯科医師会との連携	3.6	3.7	就職率100%を達成することができた。早期離職防止についても対策を考えたい。
			10月に学生の就職希望を調査する	3.8	4.0	
			個人面談を実施し、学生の希望及び適性を考慮しながら求人情報の提供、助言を行う	3.7	3.8	
4. 社会人基礎力						
(1) 社会への適応能力を育成する	課題の解決に向けて目標を設定し、粘り強く取り組む能力を育成する	課題の解決に向けて目標を設定し、粘り強く取り組む能力を育成する	各種行事や実習開始前に目標を設定し、提出させる	3.6	3.6	おおむね達成した。 グループディスカッション等を増やし、コミュニケーション能力を育てるためのカリキュラムも引き続き検討したい。
			接遇作法を指導する	3.4	3.3	
	共同作業に必要な資質を育成する	コミュニケーション能力を育成する	規律を身につける	3.3	3.3	

評価項目	目標	具体的方策	具体的取組	評価		成果と課題 (年度末)
				前期	年度末	
5. 広報						
(1) 学生募集	歯科衛生士の認知度を高め、優秀な学生を確保する	高等学校にPRを行う	高等学校訪問および学校説明会を行う	3.8	3.8	高等学校訪問やPR活動は例年以上に行ったが、結果的に定員を確保することができなかった。応募者が減少している中、学生を確保するための効果的なPR活動を検証し、強化していく必要がある。
		ホームページや広告などで認知度を高める	ホームページの充実	3.9	3.8	
			進学情報誌などへの広告の掲載	3.6	3.8	
6. 組織・運営						
(1) 学校経営方針	経営方針を明確化し、その実践を行う	中長期のビジョンを明らかにし、全教職員が情報を共有する	中長期の学校経営ビジョンを全教職員が認識する	3.2	3.2	おおむね達成した。今後も各教職員は学校教育目標を意識し、情報を共有しながら教育活動を行う。
(2) 学校評価	学校自己評価を実施し、その結果を公表する	自己評価結果をホームページで公表する	自己評価結果をホームページで公表する	3.8	3.8	達成した。今後も自己評価内容を検討し充実させていきたい。
(3) 授業評価	教員の指導力を高める	専任教員の指導力向上	研修会に積極的に参加させる	3.6	3.8	達成した。さらに、教員の研修の機会を確保することが必要である。
		外来講師との連携	講師会を開催し、各科目担当者との連携を図るとともに教育改善の為の検討を行う	3.7	3.8	
7. 施設・設備						
(1) 施設・設備の管理	安全管理	定期的な設備の点検、整備	電気保安協会の点検を受ける	3.9	4.0	達成した。避難訓練は11月に実施した。学生の安全管理には今後も十分留意していきたい。
		常に安全を優先して教育活動を行う	避難訓練の実施	3.4	3.8	
		省エネ運動を推進する	電気器具のスイッチの切り替えをこまめにする	3.6	3.4	
	施設の充実、更新	既存施設を定期的に点検する	机・椅子・実習機器等の備品を点検し不良品は取替える	3.6	3.8	
(2) 情報の管理	パソコン等を使った校務処理を適切に行う	パソコン上の学生情報等の管理徹底をはかる	学生の個人情報の取扱いには細心の注意を払う	3.9	3.8	達成した。情報の管理は適切に行っている。今後も個人情報の取り扱いには十分注意したい。
			自宅のパソコンで業務を行わない	3.9	3.8	